

新型コロナウイルス感染症の 拡大防止チェックシート



【カラオケ】

確認項目	チェック欄
1. マスクの着用・手洗いの徹底	
従業員や利用者にはマスク着用の徹底を周知し、着用していない場合は配布等に努めている。	
歌唱に際しては、マスクまたはフェイスシールドの着用を理解を求めている。	
消毒備品等を各所に設置し、従業員や利用者には手洗いや手指消毒、咳エチケットの徹底を周知している。	
タオル等を共用しない、ユニフォームや衣服をこまめに洗濯するなど、衛生管理を徹底している。	
2. 「3つの密（密閉、密集、密接）」を避ける行動	
3密が予想される場合、整理券の配布や入店者数・滞在時間の制限等を行っている。	
店内や個室の人数が定員の半分以下となるよう制限し、半分以上の場合は分散利用を促している。	
適宜、ドアや窓を開けたり、換気設備を適切に運転・管理するなど、定期的な換気を行っている。	
従業員の休憩室等ではできる限り換気し、対面で食事や会話をしないようにしている。	
3. ソーシャルディスタンスの確保	
座席を一席ずつ空けるなど対人間隔を確保し、大声で会話しないよう周知している。	
歌唱時、座席間隔をできるだけ2m（最低1m）以上空け、横並びで座るよう周知している。	
対面が想定される場所へのパーティションなど、遮る物を設置している。	
支払い時のキャッシュレス決済導入などで接触機会を低減している。	
4. 施設の清掃・消毒	
複数の人が触れる場所や物品を極力減らし、難しい場合はこまめに清掃・消毒している。	
マイク、リモコン、タブレット端末、カラオケ機器、テーブル、椅子等は、客の入れ替わりのタイミングで消毒している。	
トイレ周り（蛇口やドアノブ含む）は、定期的に拭き上げ消毒を実施している。	
使用済みマスク等は、ビニール袋に入れて縛るなど、密閉して捨てるようにしている。	
清掃・消毒・ゴミ回収は手袋・マスクを着用し、事後に手洗い・手指消毒を行っている。	
5. 利用者・従業員の体調管理	
発熱や咳などの症状がある方は、入場をご遠慮いただくようお願いするなどの対応を行っている。	
毎日、従業員の体温、体調を確認している。	
体調不良の従業員に休養を促し、勤務中に体調不良になった者はただちに帰宅させている。	
管轄の保健所の確認や利用者の把握など、感染者等の発生に備えた取組を行っている。	
6. その他	
飲食は、大皿での提供やドリンクバー等を避けている。	
ドリンクバーの場合は、定期的に操作ボタンの消毒を行い、トンガ等を使用しない氷の提供を行っている。	
回し飲み、箸やフォークの共用は控えるよう注意喚起を行っている。	
業種別ガイドラインに基づく対応を実践している。	